

2004年11月13日(土)・14日(日)

13:30 開場 14:00 開演

プレビュー公演 11月11日(木) 17:00 開場 17:30 開演

九州情報大学 1 号館303教室

CAST

ドッチモドッチ

審判：古賀 陽子
男1：山崎 雄三
男2：光来出 康
女：杜 玲

大誘拐

遠藤英香：古賀 陽子
宇宿宗太：光来出 康
忌部治臣：山崎 雄三
声の出演：豊住季実枝

STAFF

演出：平川 亘
演出補：東山 修平
音響：阿比留 崇裕
照明：大神 香織、東山 修平
メイク：豊住 季実枝
制作：大神 香織

Special Thanks

九州情報大学学術研究所
九州情報大学教職員の皆様
小浦啓輔 栗山剛 楠本久実 平林克繁
飛ぶ劇場 榎藤昌弘 天福星 うちがねかける
福岡市立堅粕小学校

ドッチモドッチ

九州情報大学

演劇研究会

エフ・ステージ

第1回公演

作・うちがねかける 第2部

大誘拐

演出
平川亘



ごあいさつ

本日は、劇団「エフ・ステージ」の第1回公演にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。
演劇研究会は、九州情報大学KI研究会のひとつとして、2004年初夏に産声をあげました。演劇経験のある学生(4年生)の「情報大で芝居をやりたい」という情熱に、最近演劇鑑賞にハマっている一教員が乗って、全学生に呼びかけたことがこの起こりです。

今日この日を迎えるまでには、様々な紆余曲折がありました。役者・スタッフがなかなか集まらず、当初予定していた演目が二転三転し、一時は空中分解→自然消滅かと思われた境地で意気消沈したこともありました。(そうしたこともこの公演が成功裏?に終われば、きっと笑い話になるでしょう。いやきっとなるはずです!)

まだメンバーが集まってもいなかった時期に、「せっかく芝居をやるなら、劇団名を決めよう!」ということになりました。「まずは形から」がわれわれのスタンスだったのです。そこで、ごく一部のメンバーの独断と思いつきで、安易にそしてなしくずし的に、いつのまにか決められていた名前が「F-Stage」です。

では、F-StageのFの意味とは?

もちろん、それは九州情報大学が在り私たちが住んでいるこの福岡 — fukuoka-stage を意味しているのかもしれませんが、それだけではありません。

九州情報大学で「初めて (first)」の舞台ということで、first-Stage ———— 実際、今回の公演で演劇経験者は1人だけで、のこりの役者・スタッフのすべてがまったくシロウトです。

演劇から通か遠いところを生きてきた者たちが、一体何を血迷ったか? 何故、この「九州情報大学」で芝居をしようと思ったのか? それは、それこそメンバー一人ひとりの心の深層を透視するしかありませんが、「目立ちたがり屋」なる性格からはおよそ遠いところを(つまり、人生の道程の端の方を)歩いてきたメンバーばかりですので、これまた不思議です。

とにかく、半ば気まぐれ (faddish) で始めたF-Stageが初めての公演を迎えることができたことは、まさに奇跡的であり感無量の極みです。まやかし芝居 (false-stage) からどれだけ脱却しているかは、観ていただいたみなさんの劇後の表情にゆだねるしかありません。

それでは、どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

F-Stageの公演がみなさんにとりまして、favorite-stageの一つになりますことを祈念しつつ…

追記

F-StageのFはfade-out → finalを、つまり、これが最初で「最後の舞台」ということを意味しているやも知れません…。

「エフ・ステージ」劇団員一同

あらあじ

ドッチモドッチ

男は何もない道を
さまよっていた
やがて
たどりついた場所は、
男の運命を
決める場所だった…。

大誘拐

偶然にも
出会ってしまった
男女三人
とんでもない計画を
思いつき、
実行に
移していくのだが…。

光来出 康 →

(東山くんへ)
ハゲ…? うすいです…?
うすいっていうなー!

…人生初の演技です。
失敗もご愛嬌ってことで…。

阿比留崇裕 →

大道具・小道具・音響等
いろいろやりました。
カッコいい音を
聞いてください。

← 大神香織

古賀ちゃんの
熱意に押され、
こまめにやってこれました。
役者が輝けるような
照明を頑張ります。

← 平川 亘

演劇 初体験。
え〜…、いつの間に
演出になったのだろう。

スタッフ キャスト から ひとこと

古賀陽子 →

思えば今年の5月に、大学で
劇がやりたいなー。なーんて
考えてみたことが始まりでした。
みんな劇初体験なのでなーなる
ことやら…って心配してんですが、
自分で言うのもなんですが、
なかなかのもんですよ(ω`)

おもしろいと感じたら声を出して
笑ってやってください。
それによって
さらに役者のテンションも
上がりますので!

← 東山修平

影… うすいです……。
…いっそ、
ひとおもいに……。

← 山崎雄三

ふたつの台本の
キャップも楽しんで下さい…。
いや〜、
自分 カッコイー!!

F-Stage